

ロボット戦略 世界分散ファンド

愛称:資産の番人

第10期運用報告書（全体版）


（決算日 2021年8月23日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）	
信託期間	2016年9月30日から2026年8月24日まで	
運用方針	値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ルクセンブルク籍投資法人「マン・アンブレラ・SICAV」のサブファンドである「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ」が発行する外国投資信託証券「日本円クラス（ヘッジ付）」および国内の証券投資信託である「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。	
	マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ日本円クラス（ヘッジ付）	先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引および為替先渡取引等を主要投資対象とします。
	T&Dマネーアカウントマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 有価証券先物取引等の派生商品取引の指図は行いません。	
分配方針	毎決算時（2月と8月の22日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ただし、必ず分配を行うものではありません。	

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。
さて、「ロボット戦略 世界分散ファンド」は、2021年8月23日に第10期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **T&Dアセットマネジメント株式会社**

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先
信営営業部 03-6722-4810
 （受付時間：営業日の午前9時～午後5時）
<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	債券先物比率	マン・ AHL ・ アルファ・コア・ オルタナティブ・ 日本円クラス (ヘッジ付) 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率				
6期 (2019年8月22日)	円 11,744	円 100	% 18.4	% —	% —	% 97.9	百万円 14,872
7期 (2020年2月25日)	11,290	100	△ 3.0	—	—	95.4	15,396
8期 (2020年8月24日)	10,650	100	△ 4.8	—	—	96.8	14,514
9期 (2021年2月22日)	10,914	100	3.4	—	—	97.3	13,579
10期 (2021年8月23日)	10,995	100	1.7	—	—	95.7	11,133

(注) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	マン・ AHL ・ アルファ・コア・ オルタナティブ・ 日本円クラス (ヘッジ付) 組入比率
		騰落率			
期首 (前期末) 2021年2月22日	円 10,914	% —	% —	% —	% 97.3
2月末	11,078	1.5	—	—	96.9
3月末	10,968	0.5	—	—	96.6
4月末	11,204	2.7	—	—	95.3
5月末	11,228	2.9	—	—	96.8
6月末	11,070	1.4	—	—	94.9
7月末	11,084	1.6	—	—	97.3
期末 2021年8月23日	11,095	1.7	—	—	95.7

(注) 基準価額は1万口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

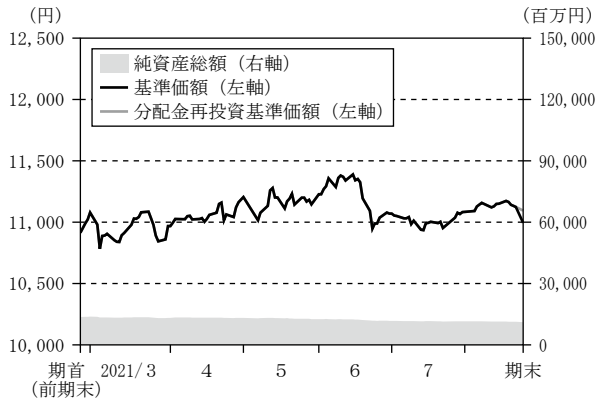
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第10期首：10,914円

第10期末：10,995円（既払分配金100円）

騰落率：1.7%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2021年2月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）」において、通貨セクターがマイナスに寄与したものの、株式セクターと債券・金利セクターがプラスに寄与したことから、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）	2.2%
T&Dマネーアカウントマザーファンド	0.0

■ 投資環境

【株式市場】

期初から2021年4月上旬にかけては、米長期金利上昇等が時折重しとなりつつも、米国の追加経済対策成立などを背景として、幅広く株価は上昇しました。その中で、中国では、当局の金融引締め観測や新疆ウイグル自治区での人権侵害に対する米国やEU（欧州連合）による制裁措置発表を受け、株価が大幅に下落しました。4月中旬から6月下旬にかけては、米国のキャピタルゲイン課税強化やインフレ加速に対する警戒感が上値を抑える場面もあったものの、新型コロナウイルスワクチン接種進展による景気回復期待や堅調な企業決算を背景に、株価が上昇しました。この間、日本では、国内の新型コロナウイルス感染拡大を受けて株価が弱含む展開となりました。期末にかけては、世界中で新型コロナウイルス変異株の感染が拡大し景気回復が遅れるとの懸念が広がりましたが、米国や欧州では好調な企業決算を受け引き続き株価が上昇する一方、中国政府の企業への規制強化等もあり、中国や日本などのアジア地域では株価が下落しました。

【債券市場】

期初から2021年2月末にかけて世界的に金利が上昇した後、3月には、米国では、F R B（米連邦準備制度理事会）が金利上昇をさほど警戒していないとの見方を受けて上昇基調が続きましたが、欧州や日本では、E C B（欧州中央銀行）や日銀の金融緩和継続姿勢を受け、上昇が抑制されました。4月に入り、米国の金利上昇が一服、6月下旬にかけて、景気回復期待が高まるなか、インフレ懸念や量的緩和の縮小開始時期、根強い米国債需要等を巡り金利はもみ合いながらも低下しました。その間、欧州では、5月中旬にかけて新型コロナウイルスワクチン接種進展を受けた景気回復期待で金利が上昇した後、米国金利に連れ上昇幅を縮小、日本では、国内での新型コロナウイルス感染拡大を受けて低下基調となりました。期末にかけては、米国雇用統計の好結果等を受けて金利が上昇する場面もありましたが、世界中で新型コロナウイルス変異株感染が拡大して景気回復が遅れるとの懸念や、各国中央銀行の金融緩和維持姿勢などから、金利は低下基調となりました。

【為替市場】

期初から2021年3月末にかけては、米長期金利が上昇したことを背景に、米ドルが他の多くの通貨に対して堅調となりました。4月に入り、米長期金利上昇が一服したことで、米ドルは軟化、金利がもみ合いながらも低下したことに連れ、6月上旬にかけて他の多くの通貨に対して軟調となりました。その間、商品価格の上昇や景気回復期待による投資家のリスク選好姿勢の高まりを受け、南アフリカランド・ブラジルリアルなどの資源国通貨やユーロが特に堅調となりました。6月中旬には、F O M C（米連邦公開市場委員会）で予想外に利上げ前倒しの見通しが示されたことで米ドルが反発、その後期末にかけては、米国長期金利は引続き低下基調で推移しましたが、世界的な新型コロナウイルス変異株の感染拡大で投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどを背景として、米ドルは他の多くの通貨に対して堅調となりました。その一方で、商品価格上昇が一服したことなどもあり、資源国通貨は大幅に軟化しました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.10\%$ から期末は $\Delta 0.12\%$ となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）」の組入比率は概ね高位を保ちました。また、「T&Dマネーアカウンタマザーファンド」を組入れました。

【マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）】

主として先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引および為替先渡取引等を投資対象とし、システムチック運用により、買建（ロング）ポジションと売建（ショート）ポジションを取ることで、市場の上昇および下落双方の局面においても収益を追求することを目的として運用を行いました。

【T&Dマネーアカウントマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、基準価額水準等を勘案し、100円とさせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）」の組入比率を高位に保ち、「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を組入れた運用を行う方針です。

【マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）】

主として先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引および為替先渡取引等を投資対象とし、システムチック運用により、買建（ロング）ポジションと売建（ショート）ポジションを取ることで、市場の上昇および下落双方の局面においても収益を追求することを目的として運用を行います。

【T&Dマネーアカウントマザーファンド】

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの流行などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2021年 2 月23日から2021年 8 月23日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2021/ 2 /23～2021/ 8 /23		
	金額	比率	
平均基準価額	11,105円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	56円 (23) (31) (2)	0.505% (0.208) (0.280) (0.016)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用)	1 (1)	0.009 (0.009)	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	57	0.514	

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

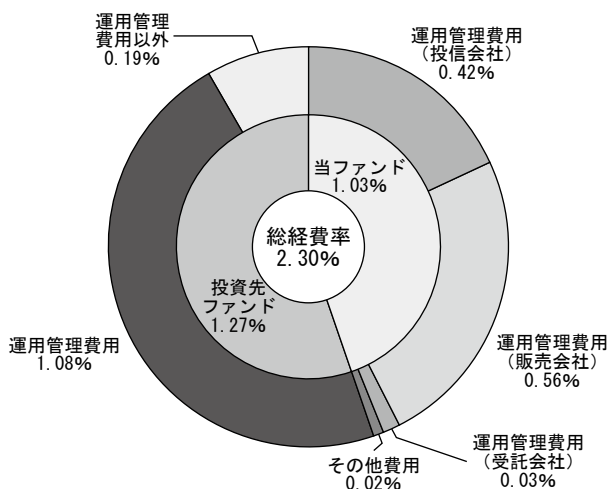
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、2.30%です。



総経費率 (①+②+③)	2.30%
①当ファンドの費用の比率	1.03%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.08%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.19%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) ②の費用は、基本報酬と成功報酬で構成されています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2021年2月23日から2021年8月23日まで)

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ ー 日 本 円 ク ラ ス (ヘ ッ ジ 付)	口 —	千円 —	口 236,288	千円 2,846,000

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等 (2021年2月23日から2021年8月23日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2021年8月23日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ ー 日 本 円 ク ラ ス (ヘ ッ ジ 付)	口 1,120,685	口 884,397	千円 10,657,358	% 95.7

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	
T&Dマネーアカウントマザーファンド	千口 49	千口 49	千円 49	

(注) T&Dマネーアカウントマザーファンド全体の受益権口数は99千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2021年8月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ ー日本円クラス(ヘッジ付)	10,657,358	93.8
T&Dマネーアカウントマザーファンド	49	0.0
コール・ローン等、その他	710,384	6.2
投資信託財産総額	11,367,791	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年8月23日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	11,367,791,598円
コール・ローン等	710,382,767
マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ ー日本円クラス(ヘッジ付)(評価額)	10,657,358,935
T&Dマネーアカウントマザーファンド(評価額)	49,896
(B) 負 債	234,653,142
未払収益分配金	101,259,914
未払解約金	68,864,075
未払信託報酬	63,424,904
未払利息	1,265
その他未払費用	1,102,984
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	11,133,138,456
元 本	10,125,991,461
次期繰越損益金	1,007,146,995
(D) 受 益 権 総 口 数	10,125,991,461口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,995円

(注) 期首元本額 12,441,740,427円
 期中追加設定元本額 680,433,947円
 期中一部解約元本額 2,996,182,913円
 (注) 1口当たり純資産額は1.0995円です。

損益の状況

当期 自2021年2月23日 至2021年8月23日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 157,181円
受 取 利 息	1
支 払 利 息	△ 157,182
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	240,986,760
売 買 益	297,795,239
売 買 損	△ 56,808,479
(C) 信 託 報 酬 (A+B+C)	△ 64,527,888
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	176,301,691
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	234,226,902
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	697,878,316
(配当等相当額)	(706,116,413)
(売買損益相当額)	(△ 8,238,097)
(G) 合 計(D+E+F)	1,108,406,909
(H) 收 益 分 配 金	△ 101,259,914
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	1,007,146,995
追 加 信 託 差 損 益 金	697,878,316
(配当等相当額)	(706,116,413)
(売買損益相当額)	(△ 8,238,097)
分 配 準 備 積 立 金	387,000,466
繰 越 損 益 金	△ 77,731,787

(注) 損益の状況の中で
 (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(706,116,413円)および分配準備積立金(488,260,380円)より、分配対象収益は1,194,376,793円(1万口当たり1,179円)であり、うち101,259,914円(1万口当たり100円)を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位: 円・%、1万口当たり・税引前)

項目	当期
	2021年2月23日 ～2021年8月23日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.901
当期の収益	—
当期の収益以外	100
翌期繰越分配対象額	1,079

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

※元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

T & D マネーアカウントマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当期における売買はありません。

T & D マネーアカウントマザーファンドの組入資産の明細

当期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

マン・アンブレラ・SICAV－マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ルクセンブルク籍／外国投資信託／円建
運用の基本方針	中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
投資態度	<ul style="list-style-type: none"> ・先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引および為替先物取引等を積極的に活用し、主として市場動向の方向性にそって多数の先物等についてロングポジションまたはショートポジションを構築することにより、中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 ・先進国および新興国における多くの市場を対象としたシステムチック運用により、市場の上昇および下落局面においても収益を追求します。 ・原則として、コモディティ市場への投資は行いません。 ・投資運用会社の判断によりレバレッジを活用します。 ・資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主な投資制限	<p>有価証券（先物等のデリバティブ取引は含みません。）の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 一発行会社の発行済株式総数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 流動性にかける資産の組入れは10%以下とします。</p>
決 算 日	毎年12月31日
分 配 方 針	原則として分配は行いません。
管 理 会 社	ウェイトーン マネジメントカンパニー（L u x）S . A
投資運用会社	AHL パートナーズ LLP

※次ページ以降の記載は、マン・グループ・ジャパン・リミテッドより入手した「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ」の監査済報告書および保有明細をもとに作成しております。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。当該記載は監査報告書の入手可能な直近の決算日現在のものです。

※「マン・アンブレラ・SICAV－マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）」は、「マン・アンブレラ・SICAV」のサブファンドである「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ」が発行する円建外国投資信託証券です。

マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ

(1) 純資産変動計算書

計算期間：2020年1月1日から2020年12月31日

	(単位：米ドル)
期首の純資産額	215,020,605.03
収益	
債券利息	769,486.89
銀行利息	504,661.29
収益合計	1,274,148.18
費用	
運用報酬	2,111,885.50
管理会社費用	46,356.65
成功報酬	139,122.70
受託銀行手数料	70,859.90
登録、事務代行、名義書換事務費用	153,088.22
監査費用、印刷および発行費用	55,067.75
年次税	30,674.54
銀行利息	79,306.98
取引手数料	115,160.38
その他費用	108,235.78
費用合計	2,909,758.40
投資に係る純損益	(1,635,610.22)
有価証券売却に係る実現純損益	1,097.00
外国為替先渡取引に係る実現純損益	3,451,977.74
先物取引に係る実現純損益	867,655.08
外国為替取引に係る実現純損益	(623,969.29)
実現純損益	3,696,760.53
未実現損益の変動：	
－有価証券投資	(317,550.13)
－外国為替先渡取引	10,038,411.60
－先物取引	(160,448.24)
運用の結果による純資産の増減額	11,621,563.54
資本変動額	
追加設定金額	12,859,260.56
一部解約金額	(32,736,898.25)
当期末の純資産額	206,764,530.88

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(注) 「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ」における「日本円クラス(ヘッジ付)」の決算期末の持分比率は69.3%です。なお、持分比率は監査済報告書の情報をもとに当社が算出したものです。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2020年12月31日

(A) 債券

銘柄名	数量	通貨	簿価	評価額
			米ドル	米ドル
United States Treasury Bill 0.00% 21/Jan/2021	10,000,000	USD	9,993,579.44	9,999,775.00
United States Treasury Bill 0.00% 11/Mar/2021	10,000,000	USD	9,993,705.83	9,998,591.00
United States Treasury Bill 0.00% 18/Mar/2021	10,000,000	USD	9,995,333.33	9,998,501.00
United States Treasury Bill 0.00% 25/Mar/2021	10,000,000	USD	9,992,973.75	9,998,188.00
United States Treasury Bill 0.00% 13/May/2021	15,000,000	USD	14,993,265.28	14,995,677.00
United States Treasury Bill 0.00% 27/May/2021	10,000,000	USD	9,996,033.33	9,997,120.10
合計			64,964,890.96	64,987,852.10

(B) 為替先渡取引（上位10銘柄）

通貨		評価額	評価損益
買い	売り		
		米ドル	米ドル
KRW	USD	67,919,875.93	903,107.95
EUR	USD	62,344,385.25	372,519.85
JPY	USD	53,608,337.94	241,369.12
GBP	USD	48,432,869.74	1,117,293.80
AUD	USD	46,231,887.29	1,894,512.46
USD	KRW	43,363,939.45	(340,649.51)
INR	USD	41,843,909.20	341,114.14
USD	CHF	36,289,438.20	(802,408.07)
USD	GBP	35,849,581.39	(849,083.94)
MXN	USD	34,462,643.32	667,499.99

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(C) 先物取引（上位10銘柄）

買い			
銘柄名	通貨	評価額	評価損益
90 Day Eurodollar Future	USD	74,267,987.50	17,312.54
Buoni Poliennali Del Tesoro Bond Future	EUR	56,453,717.02	312,453.94
90 Day Sterling Future	GBP	45,129,286.30	11,376.10
3 Month Euribor	EUR	36,831,418.96	(1,893.56)
UK Treasury Bond Future	GBP	35,402,031.45	2,338.44
US Treasury Bond Future	USD	30,377,187.50	27,843.64
Bank Acceptance Future	CAD	27,747,723.66	15,191.69
10 Year Government of Canada Bond Future	CAD	23,426,830.56	80,960.83
90 days Australian Bank bill future	AUD	20,041,127.14	4,103.27
S&P 200 Future	AUD	12,473,257.87	(112,967.74)
売り			
銘柄名	通貨	評価額	評価損益
3 Month Euribor	EUR	17,190,722.84	1,191.11
10 Year Japanese Bond	JPY	8,827,852.44	7,124.11
U.S. Dollar Index Future	USD	5,573,428.00	44,606.00
Bundesrepublik Deutschland Bond Future	EUR	4,991,319.84	(7,476.50)
US Treasury Bond Future	USD	3,359,625.00	(25,625.02)
CBOE Volatility Index	USD	2,417,050.00	28,670.00
10 Year Korean Treasury Bond future	KRW	2,389,589.65	6,628.03
Nifty Index Future	USD	2,130,432.00	(30,544.14)
DAX Index Future	EUR	839,640.05	(23,822.18)
Euro Stoxx 50 Volatility Index Future	EUR	36,838.85	(2,321.14)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

T & D マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第8期（決算日 2020年9月10日）
（計算期間 2019年9月11日から2020年9月10日）

「T & D マネーアカウントマザーファンド」は、2020年9月10日に第8期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資は行いません。 株式への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産額
	円	騰落率			
4期（2016年9月12日）	10,016	△0.0	—	—	百万円 8
5期（2017年9月11日）	10,012	△0.0	—	—	4
6期（2018年9月10日）	10,006	△0.1	—	—	2
7期（2019年9月10日）	10,000	△0.1	—	—	2
8期（2020年9月10日）	9,995	△0.1	—	—	0.19858

（注）基準価額は1万円当たり。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率	券 率
期首 (前期末) 2019年 9月10日	円	—	—	—	—
9 月末	9,999	△0.0	—	—	—
10 月末	9,999	△0.0	—	—	—
11 月末	9,999	△0.0	—	—	—
12 月末	9,998	△0.0	—	—	—
2020年 1 月末	9,997	△0.0	—	—	—
2 月末	9,997	△0.0	—	—	—
3 月末	9,996	△0.0	—	—	—
4 月末	9,996	△0.0	—	—	—
5 月末	9,995	△0.1	—	—	—
6 月末	9,995	△0.1	—	—	—
7 月末	9,995	△0.1	—	—	—
8 月末	9,995	△0.1	—	—	—
期 末 2020年 9月10日	9,995	△0.1	—	—	—

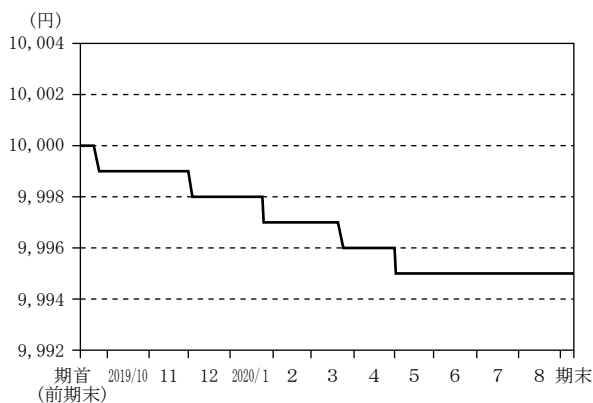
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,000円からスタートし、期末は9,995円へ下落しました。運用対象であるコールローンの利回りがマイナスで推移したため、下落となりました。

■ 投資環境

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.18%から期末は△0.14%となりました。期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要の高まりや担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の下落などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2019年9月11日から2020年9月10日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2019/9/11~2020/9/10	
	金額	比率
平均基準価額	9,996円	
その他費用 (その他)	0円	0.001%
合計	(0)	(0.001)
	0	0.001

(注) 費用項目について、その他費用は期中のその他費用/期中の平均受益権口数です。また、その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

売買および取引の状況 (2019年9月11日から2020年9月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2019年9月11日から2020年9月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2020年9月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2020年9月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 198	%
投 資 信 託 財 産 総 額	198	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年9月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	198,580円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	198,580
(B) 純 資 産 総 額 (A)	198,580
元 本	198,686
次 期 繰 越 損 益 金	△ 106
(C) 受 益 権 総 口 数	198,686口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (B/C)	9,995円

(注) 期首元本額 2,289,524円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 2,090,838円

(注) 元本の欠損
 当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は106円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.9995円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
 T&D日本株ファンド(通貨選択型) マネーボールコース 98,799円
 ロボット戦略 世界分散ファンド 49,921円
 ロボット戦略II 世界成長ファンド 49,966円

損益の状況

当期 自2019年9月11日 至2020年9月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△877円
支 払 利 息	△877
(B) そ の 他 費 用 等	△ 11
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	△888
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 56
(E) 解 約 差 損 益 金	838
(F) 合 計 (C+D+E)	△106
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	△106

(注) 損益の状況の中で

(E) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。